

2023 年 12 月 21 日 大阪労山理事会議題

—— 事務局 ——

■ 来年度の役員体制

- ・ 常任理事 総会に複数代議員を出している会から 当番制で良いので選出を。

■ 本日 12 月の冬山連絡会のあとに 事務所での忘年会 ・ 会費 500 円

■ 事務所転送電話問題 変更方法を確認する

● 大阪労山総会 2024 年 3 月 10 日（日） 国労会館

- ・ プルビチャチュ初登頂 42 周年記念集会 を総会のあとに引き続き行う件

中川さん事務局より…名簿整備完了・隊での実行委員会のようなものが出来ている・12/14 に記念行事発起会開催・

講演会の主旨は ・ この登頂は、大阪労山の歴史にさんぜんと輝く出来事であり、未来に引き継いでいくべき成果。

- ・ 関係者は高齢の域に達しておられ、山や会からの距離が遠くなりつつある。 この機に、関係者を大阪労山の仲間で囲み、当時の意気込みをたどり、我が大阪労山の将来を展望する糧としたい

- ・ 30 人くらい集まれる部屋を追加 予約する（午後のみ）

これに伴い 総会の終了時間を 40 分ぐらい前倒しを考えます

議事日程

会場設営（各会担当者・役員・常任理事）9：00 ～ 9：15 （15 分早める）

受付開始（ ）（ ） 9：15 ～ 9：45 （15 分早める）

開会宣言・会長挨拶（ ） 9：45～（15 分早める）

議事日程及び議長・書記の任命提案（ ）

議長…昨年の総会で確認（大阪志峰会）（大阪ぽっぽ会） 書記（ ）

議長挨拶

総会役員選出

資格審査委員（ ）（ ） 常任（ ）

選挙管理委員（ ）（ ） 常任（ ）

議事運営委員（ ）（ ） 常任（ ）

来賓あいさつ（ ）

祝電メッセージ紹介（ ）

議案 提案

10：15 ～（25 分早める）

第 1 号議案 情勢・活動報告・

方針（ ）

第 2 号議案 決算報告

監査報告 () ()

第3号議案 予算案 提案

昼食・休憩 11:40 ~ 12:20 (20分早める)

各部部长補足説明 12:20 ~ 12:30

討論 12:30 ~ 14:00 (60分早める)

議案採択

新役員選出・投票、開票結果発表

(休憩)

新任役員紹介 ()

代表挨拶 ()

議長団解任 ()

永年功労賞授与 ()

議長推薦 () () ・決定

閉会あいさつ ()

14:45 閉会予定 (40分早める)

総会へのスケジュール案

1) 総会資料・総会資料 各部 議案書第一次案 提出 1月15日(金) (昨年は1月13日)

・常任理事会 1月18日(木)①代議員登録と2月代表者会議

・3月総会の招請状の作成 議案第一次案印刷 代表者宛名カードの作成

・総会資料 初稿完成 1月24日 (昨年は1月25日)

・理事会 1月25日(木) 第一次案議案を配布したいところ

・議案書第一次案+①を発送 1月31日

・常任理事会 2月15日(木)

議案書最終案の討議

・代表者会議 2月22日(木)

2) 会計

・事務所使用料の請求 1月28日(日) ・各部 各種学校会計 1月31日締め

・決算/予算書一次案作成 2月15日(木) 常任理事会

◆2月17-18日全国連盟総会 代議員3名(2名は全国から交通費がでる) 大西常任理事参加
(あと2名は1月の常任で決定)

—— 組織部 ————

1. 11月末の組織数の提出

12/10現在、45会から組織数提出がありました。〆切は12月14日(木)です。

2. 脱退届

12/8 山の会ポレポレから脱退したいと連絡がありました。移籍の話をしたが、脱退（解散）の方向は変わらないようです。脱退届の作成・提出をお願いします。

—— 子どもの冒険学校 ——

・2024/1/28（日）イン谷で 雪の冒険学校開催 現在子ども20人（現在30人に）
応募有り スタッフ募集しています

—— 自然保護委員会の報告 ——

11/23、自然保護観察会・和泉葛城山・報告

記：自然保

護・澤村

講師：田中正視 大阪府自然環境保全指導員（元高校理科教師）

参加者：八尾・5人、豊中・4人、泉州・3人、雑木・2人 計・14人＋先生

田中先生のお話は、予想通り、草花の紹介だけではなく、関連する話題をふんだんに織り交ぜたいへん楽しいものでした。下記は、参加者の感想文を参考にまとめました。

●和泉葛城山のブナ林は、日本で第1号に国の天然記念物に指定されたものでかなり価値がある。

朝ドラ・らんまん：牧野富太郎に懇願したようです。

ブナを保全するために様々な方が関わりいろいろな取り組みをしていることが分かった。ブナ1本1本に番号が付けられ、巡視管理が行われ、天然記念物（コアゾーン）の周辺森林（バッファゾーン）を含む保全、ブナ林の保護と増殖のための調査活動などである。近年では、努力なしでは森林は守られないということである。そんな人々の努力を台無しにしたのが2017年、樹齢300年この辺りでは最古のブナの大木の伐採である。それも天然記念物であるブナを、文化庁の許可なく、、ひどい話である。

Yahoo 記事：和泉葛城山ブナ伐採、朝日新聞をご覧ください。

ぶなは、高さ20cmまで育つのに約20年、1mほどになるには約40年要する

ぶな⇔シデの樹皮の違い。シデは縦模様、ぶなは地衣類（細菌みたいなもの）が共生している。

ぶな⇔ミズナラの葉っぱの違い。即脈の先端は葉のふちの谷にいたる。 図 - ①をご覧ください。（理事会資料参照。写真は削除しています 高橋）

●タラヨウ(多羅葉)は「はがきの葉」言い、葉の裏を爪楊枝でひっかくと黒くなるので文字が書ける。切手を貼り住所を書くと自宅に届いた、とのこと。 写真 - ①をご覧ください。（理事会資料参照。写真は削除しています 高橋）

●リスのお話。松ぼっくりの鱗片の根元に小さな黒い種が2つあって、それをリスが食べる。食べた後をエビのしっぽと言う。 写真 - ②をご覧ください。

●笹の葉っぱの裏はモフモフ、寒さから守るためだって。

●山頂近くにカメラを設置すると、しかが写っていた、とのこと。今は冒険者がひとり和泉

の山にやってきているがそのうち、兄弟たちもやってくるのでは？これは心配。

●この泉州あたりの地質や地形の話があっぴびっくりした。大阪北部より新しい中生代から白亜紀の地質で、海から押されて隆起し、雨風でけずられたので、和歌山川は急斜面で谷が深いそうです。

●宿の谷の上部の明るい斜面はニリンソウの宝庫。

図 - ① 即脈が違う（理事会資料参照。写真は削除しています 高橋）

—— 平和と登山 ————

第 53 回戦跡ハイキング 11 月 25 日（土）

舞鶴赤レンガ記念館～大江山山系杉山・宇野ヶ岳

第 53 回戦跡ハイキング、天候等の諸事情で行程を変更して「舞鶴赤レンガパーク～大江山山系杉山・宇野ヶ岳」を実施しました。参加者：吹田 3 名、きたろう 2 名、くまごろう 1 名、泉州 1 名 計 7 名、天気予報は雨のち曇りでしたが、ほぼ一日、時々晴れ間がみられるなど天候に恵まれました。舞鶴赤レンガパークの建物は 1902 年ごろに建てられた物、レンガの建造物の持つ魅力や歴史に触れることができました。壮大に 8 棟が並んでいる赤レンガ館、港にレンガ館と潮風が出会う町の雰囲気伝わって良かったです。杉山～宇野ヶ岳は宮津エコガイドの中川昭一さんに案内していただきました。100 本以上のの巨大杉群に圧倒され、宇野ヶ岳から宮津湾、天橋立への眺望が素晴らしかったです。歴史ある街歩き、自然豊かな大江山山系の山歩き、7 名の楽しい丹後の一日でした。（大西清見）

戦跡ハイキング（赤レンガ記念館と宇野ヶ岳～杉山）の感想

参加者(7 名)大西清見・園敏雄・石野明子・日置勲

泉田靖子・夷愛子・又吉千智

25 日、予定通り 6:45 分大阪駅で集合し、一路宝塚～舞鶴方面へ。曇り空の為か？猛暑の影響か？車窓から見る紅葉は色づき悪くイマイチである。ところが、舞鶴自動道に入ると青空も見え始め、一面自然林の里山は見事に全山紅葉し色づきも良く右に左にと楽しむ事が出来、素朴な里山の美しさを改めて見た気がした。

9 時過ぎ、楽しみにしていた念願の舞鶴赤レンガ記念館着。明治 36 年、フランス式レンガ工法での建築物との事。100 年以上も前にこれだけ精密で立派な建築物が人力で作られた事にも驚くが、これ程美しい状態で維持管理されていることにも感激したし、足元には魚雷でも運び込まれたのだろうか？昔のままの線路が微かに残っているのにも歴史を感じ、人の力の偉大さを思い知った一コマだった。

昼食は「とれとれ市場」で、イカのゲソやサバの丸焼きを初めて会ったメンバー 7 名で分け分けして同じものを食べたのも楽しい思い出。

昼食後は、青空で光る美しい日本海沿いを一路ガイドさんの待つ「普甲峠」へ。峠でガイドの中川さんと合流し、鍵付きの林道を終点まで登る。ところどころで参勤交代時に歩かれた道 !! 嫁入りの時に山越した道 !! はたまた万葉の時にも歩かれたであろう

う道 !! など説明を受け、林道終点からは数百年は経つであろう大杉の数々の説明を受けながら、苔むした静寂な山歩きを楽しんで宇野ヶ岳（694m）へ。宇野が岳山頂から見る天橋立は、名前の通り湾に橋を架けるようで見事だった。その後、オマケで風穴を見て杉山（697m）へ。

地元の方々も、今も歴史ある山を守るために鹿よけを作り、倒木の処理や整備など地道な作業が続けられていることに頭が下がり感謝の念を伝え 4 時半過ぎ、上宮津を後にした。

歴史の重みと同時に、近年話題の「鹿の害」で山肌がむき出しになり自然が荒れる様子を目の当たりにし、考えさせられる一日となった。（吹田岩山/泉田靖子）

案内してくださった中川昭一さん（1945 年生）

上宮津・杉山ガイド部会のホームページでの中川さんの紹介文です

私が子どもの頃から親しんだ杉山。近年ここに林道が開設され、苦勞なしに山中に入ることができます。ここには、300 年～400 年の樹齢を誇る天然杉の群落が残り、林道の開設で日当たりが良くなった法面には、新たに草木が芽吹き、杉山の生態系を縮図化したような状況になっています。最近になって、ここに生息する動植物の名前を覚えたこともあり、私なりにこの杉山への愛着心が大きく膨らんでいます。私の心の内を多くの方に届けたいと思うこのごろです。（上宮津・杉山ガイド部会）

—— 教育遭難対策部 —————

（1）活動状況・今後の予定

- 1）中級登山学校；1 月には来年中級の活動のアウトラインができる予定
- 2）救助隊 ・11 月 11 日 ドローンを使った搜索訓練を実施。参加現状 6 6 人
@大岩岳周辺 ドローンで遭難者の上空に行きココヘリの信号を受けて位置情報（北緯、東経）を入手
その情報を元に地図アプリで現場に行き、ココヘリ親機で現場を搜索。誤差は 100m 程で、5 分で発見できた。皆 その威力を実感。
・1/29 雪搬出訓練
- 3）初級冬山登山学校 11/20 開校 受講生 5 名
- 4）初級登山学校； 次年度の打合せを予定している
- 5）兵庫との共催の筋トレ 兵庫 43 人 大阪 20 人の申込み。9／3 0 に六甲登山、1 0／1 4、2 1、1 1／1 8 にトレーニング指導。12 月に筋力測定を予定
- 6）転倒滑落停止研究会 ・11/25 日本山岳文化学会で研究会の成果などを講演し、好評。

演題：転倒滑落停止技術の開発 1

- ・12/3、実技 2 の研究山行を実施。 前への転倒、後ろへの転倒を本気で起こし、対策の検討・トレーニング方法の検討を行う。

7) 岩登り体験教室 10月18日 開校 受講生6人 11月12日 3回目の実技を終了。

8) 近畿B行事 ・雪崩講習会 10月10日から募集開始

<http://owaf.aikotoba.jp/kblknadare.htm>

(2) 今年度の教育遭難対策部の支出の件

10月の理事会で以下を承認頂く

- ・不動岩の落下危険岩の処置費用の件 1万円 一支払い済み
- ・前鬼川ボルト設置費 6万円 —— ボルト購入費を支払い済み
交通費は未払い(予定)

(3) 障登PTへの協力

中高年者の聴覚障がい者向けの講習会を開きたい。講師はほぼ決まり。

内容は兵庫労山の「登山の筋力測定と講習」のように、・中高年者の“山歩き”に必要な体づくり

- ・中高年者のため体カトレーニング

- ・2月 月一金か、または、1/27(土)13-16 たつの子会講演会

(今は講師まだ決まっていない)に入れても可能。

会員だけでなく、非会員を募集するつもりです。

(4) 冬山連絡会

日時:12月21日(木)19:30から (理事会終了後)

場所:ZOOMによるリモートと連盟事務所

担当:富永さん

内容:1)「冬山の気象」(高田さん)2)「冬山の事故」(中川さん)――

(5) 安全対策基金の来年度分申請について・昨年度分 払い込み完了

ハイキングセミナー、女性のための登山学校、はじめての雪山講習会(初級冬)、初級登山学校 障登PT、中級登山学校 山の教室 岩登り講習会

- ・今年度分 合計15万円 11月末に全国連盟に提出済み。12月の全国理事会で決定する

(6) 百丈ヤグラについて ・ウインチ更新申請 全国連盟で予算承認 ――>見積もり提出し、大阪府連に振り込み予定。

- ・エンフォーサによる測定の確立

主な意見

淀屋橋労山から労山ニュースHPで更新を、容量も圧縮してほしいとの要望があった。

14名の参加で忘年会を行いました。(文責:高橋明代)